

日本テレビ通り沿道まちづくり協議会（第9回）会議録要旨

■日 時：令和3年7月14日（水）18：00～19：45

■場 所：麴町出張所・区民館 B1F 洋室AB

■出席者：日本テレビ通り沿道まちづくり協議会 委員 17名

二番町町会：2名

四番町町会：2名

五番町町会：1名

六番町町会：1名

麴町三丁目町会：1名

九段四丁目町会：1名

番町の町並みを守る会：2名

学校法人日本大学本部：1名

学校法人グロービス経営大学院大学：1名

学校法人女子学院 女子学院中学校・高等学校：1名

日本テレビ放送網株式会社：2名

学識経験者：東京都市大学都市生活学部 明石 達生 教授

千代田区環境まちづくり部：加島 津世志 まちづくり担当部長

関係者：3名（番町っこ倶楽部、麴町小学校ワーク・わく・クラブ、
近隣の学校チアリーディング部・応援団の有志）

（事務局）

千代田区環境まちづくり部地域まちづくり課

■傍聴者：53名

■議 事：

- （1）アンケート結果について
- （2）地域活動について（日本テレビ二番町計画への要望について）
- （3）意見交換

■配布資料

- ・次第
- ・席次表【非公開】
- ・設置要綱
- ・協議会の運営について
- ・委員名簿【非公開】
- ・資料1：アンケート集計・オープンハウスの実施結果
- ・参考資料1：番町の庭を活用した地域活動の事例について

■意見交換等

はじめに

～座長からの挨拶～

- ◇番町地域の人口ピラミッドを見て、ファミリー層の方が多いことに驚いた。勤務時間後の夜の開催の方が多くの方が傍聴しやすいと考え、事務局に依頼して協議会の時間を調整してもらった。
- ◇番町地域は住宅地でもあるので、そこで営まれる住民活動に着目することが重要であるとする。住民と来訪者、双方にとって良いまちづくりを実現していきたい。

～副座長についての提案～

(委員)

- ◇現在、副座長は麴町地区連合町会の会長も務められており、どちらかと言えば日本テレビの再開発に賛成の立場と認識している。再開発に対して反対の立場の方も副座長となった方がバランス的に良いと考えるため、番町の町並みを守る会の●●委員を副座長として推薦したい。

(副座長)

- ◇副座長の推薦からは話題が外れるが、他の町会からは2名が委員として参加されているが、五番町のみ参加者が1人である。また、会全体として女性の委員が少ないため、新たに五番町町会の婦人部長に加わっていただきたい。

(事務局)

- ◇協議会の運営は民主主義に則って、皆様のご意見を伺って決めたいと考えているが、副座長の追加選出については、要綱に基づいて座長一任で決めていただければと考える。

(委員)

- ◇既に委員の数が多いこともあり、これ以上委員を増やすと収集がつかなくなる懸念される。委員の参加資格は最低限「番町地域に住民票がある人」としてほしい。

(委員)

- ◇町会長も含めて、委員は地域に住民票があるかを確認した方がよいのではないか。町会

長は地域を代表して協議会に参加していると認識しているが、地域の意見と反対の意見を協議会で述べている方がいる。

(事務局)

◇既に委員になっている方は、住民票の有無について問わないこととしたい。委員を増やすかどうかも含め、後ほど皆さまに事務局より運営についての問い合わせをするので、ご意見はそこでいただきたい。

(委員)

◇私としては、住民票の有無のみではなく、この地で会社を経営している方、不動産を所有している方も対象として良いと思う。また、町会の方々がこの会議に出席しているが、個人の意見と地域の意見とを分けて発言しないと、偏った議論になってしまう。

(座長)

◇委員については、事務局提案のとおり、別途調整してもらうこととする。

◇物事を決める時に、2人よりも3人で議論した方がバランスは良いと考える。日本テレビの再開発について、両方の立場の方が副座長としていらした方が心強いので、委員のご提案の通り、●●委員を副座長とすることとしたい。

【座長一任により副座長として●●委員を選出した】

(1) アンケート結果について

【事務局よりアンケート結果を説明】

◇アンケートの対象地域は一番町～六番町、九段南四丁目、麴町三・四丁目とした。

◇配布数は約8,000通、回答数は総計1,584件(内訳:Web 1,195件、オープンハウス127件、FAX 151件、その他97件)であった。

◇「問1 千代田区との関係」は、在住(所有・賃貸)の方が約6割で、残りの約4割は在勤・在学・その他の方からの回答だった。「その他」は在学の保護者の方が多かった。

◇「問2 年齢」は、40・50歳代からの回答が多かった。在学の方が多いが、20歳未満の方からも回答があった。

◇「問3 日本テレビ通りに感じる魅力」で多く回答された項目について、まず上位5番目までをご紹介します。「落ち着いた住環境」、「交通の利便性」、「綺麗な街並み」、「番町の庭」、「教育機関」の順に回答が多くあった。6番目以降の回答としては、「豊富な緑」、「歩行者空間」、「カフェ」、「飲食店」、「コンビニ」の順に回答が多くあった。「教育機関」については「都心に立地しながらも静かな雰囲気である」、「近場に教育機関がたくさんあり、教育がしっかりしている千代田区を代表する文教地区である」などの理由から選んだとの記載があった。

◇「問4 日本テレビ通りをより良くするために必要な機能・施設」では、「街路樹の緑」、「幅の広い歩行者空間」、「広場・公園」、「駅へのエスカレーター」、「駅へのエレベーター」の順に多く回答された。問3で上位に入っていなかった「街路樹の緑」、「歩行者

空間」が上位に入っているのは、現状から緑化や歩行者空間整備が進んでいくことが望まれているものと認識している。6番目以降については「憩い・休憩の場」、「オープンカフェ」、「子どもの遊び場」、「災害時の避難所」、「スーパー」が多く回答されている。

◇「問4 日本テレビ通りをより良くするために必要な機能・施設」と「千代田区との関係」のクロス集計結果をみると、全体の傾向として、在住・在勤の方は多くの項目を選んでおり、在学・その他の方は項目をあまり選んでいない。全体で多く回答されている項目は、クロス集計においてもおおよそ多く回答されている。その他の特徴として、在住（賃貸）の方は「子育てサポート施設」を多く回答している。

◇「問4 日本テレビ通りをより良くするために必要な機能・施設」と「年齢」のクロス集計結果をみると、特徴として、20代未満はあまり項目を選んでおらず、「駅へのエレベーター」を回答した割合が他の年代に比べて少ない。20代・50代は「子どもの遊び場」はあまり回答していない。また、20代は「幅の広い歩行者空間」を、30代は「広場・公園」を最も多く回答している。80代以上は複数の項目を回答しており、「飲食店」や「多機能トイレ」なども選んでいる方が多かった。

◇「問5 番町の庭についてどう考えるか」は「将来にわたって存続するように、何らかの措置を講じることが必要である」という回答が6割以上であった。「千代田区との関係」、「年齢」のクロス集計をみると、いずれの属性においても「将来にわたって存続するように、何らかの措置を講じることが必要である」の方が多く回答されている。

◇「問6 継続的に広場を設ける場合、広場の使い方であったらいいと思う機能・施設」で、上位5番目までに回答されているのは「憩い・休憩の場」、「四季を感じる緑」、「子どもの遊び場」、「オープンカフェ」、「ベンチ」であった。ただし、6番目以降の「災害時の待機場所」、「芝生広場」についても20%以上の方が選んでいる。

◇「問6 継続的に広場を設ける場合、広場の使い方であったらいいと思う機能・施設」と「千代田区との関係」のクロス集計結果をみると、全体の傾向として在住（賃貸）と在勤の方は複数の項目を選んでいる。「年齢」とのクロス集計結果をみると、全体の傾向として20代未満は他の年代と比べて選んでいる項目が少ない。また、その他の特徴として、30代は地域交流イベントを多く回答している。

◇自由意見としてあげられた内容を大きく分類すると、「沿道整備等の要望」、「開発や地区計画の変更に対する異議」、「アンケートについての要望」があった。自由意見については整理し、区のホームページで公開する準備を進めていく。

◇各項目の解説文で集計の途中段階の内容が残っていた箇所があるので、それについても修正し、区のホームページに掲載する。

(座長)

◇回答率は1,600通ほどであり、番町地域の人口及び世帯数を鑑みると相当数となるので、多数の意見が反映されているものとする。

(2) 地域活動について（日本テレビ二番町計画への要望について）

(事務局)

◇どのような活動をされているか、番町の庭をどのように利用しているか、広場にあると良いと考える機能の3点について、ご意見をお伺いしたい。

(関係者)

◇コミュニティの創出を目的として、地域内外の方が参加できる、学びと交流の場づくりに取り組んでいる。これまでに、地域の精肉店等と連携した食のイベント等を実施したほか、番町の庭では馬との触れ合いを行うイベントを実施している。コロナ禍の影響により、イベントがやりづらくなっているが、番町の庭はオープンエアで使用でき、ありがたい。活動を継続するうえでこのような広場は重要だと感じる。人と人のつながりを感じられる場となっている。

番町地域には、面積が広くて自由度が高い広場があると良いと思う。樹木や芝生があり、子供たちが自然と触れ合えるビオトープのようなものがあると良い。広場は、災害時に避難ができる場所としても必要と考える。千代田区では、災害時にペットと一緒に連れて避難しなくてはいけないので、その対応も必要。昨今、SDGsの実現が求められる中で、子供の遊び場の確保も重要だが、高齢者がゆったりする場の確保も必要である。そのためには、現在の番町の庭は少し狭いと感じる。

(関係者)

◇麴町小学校の卒業生や保護者を中心に結成したクラブで、普段、地域の子供たちに様々な体験の場を作る活動をしている。当初は麴町小学校の子供たちだけを対象としていたが、広く参加してもらうために番町の庭を使わせてもらっている。これまでに番町の庭で花火を行ったが、非常に好評でたくさんの子供たちが参加した。番町の庭はセキュリティがしっかりしているので、安心して使えることが魅力と感じている。雨天時にも使えるような場所があると良いかもしれない。

子供たちは自分で遊びを作ることができるので、あえて何もない広い広場にしていただけとありがたい。

(関係者)

◇高校生の子供がおり、体育祭でチアリーダーの発表を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で体育祭が中止となった。どこか別の場所で発表の機会を持てないかと考え、区の施設等に問合せをしたが、新型コロナウイルスのワクチン接種会場になっていたりして、場所が確保できなかった。高校からそれほど離れておらず、利用料が高くない施設ということで、番町の庭を利用できないかと問合せをしたところ、快諾していただき、照明や音響のサポートまでしていただいた。現在、保護者は子供たちの学校での活動の様子を見ることはほとんどできないので、発表の場はありがたい。コロナ禍で色々なことが制限されている中、久しぶりに生き生きとした子供たちの姿を見ることができた。

区の施設は手続き等が煩雑とを感じるが、番町の庭は民間の施設なので、手続きのスピード感が早く使い勝手も良い。

できれば、番町の庭のスペースが今より広くなり、緑も増えると尚良いと感じる。

(3) 意見交換

(座長)

◇番町の庭を使用されている方から生の声を聞かせていただいたが、それを踏まえ、まず日本テレビの方よりコメントをいただきたい。

(委員)

◇自分たちは場を提供しているだけであり、活用してくださる方をはじめ様々な方の理解があって、番町の庭の良好な環境が保たれていると感じる。ただ、番町の庭はあくまでも暫定的な施設であるので、今の状態のまま恒久的に設置することは難しい。

現在、二番町の計画地でも、有期限ではあるが広場の整備を進めている。番町の庭よりも緑を増やす予定で、「番町の森」として今年9月にオープンする予定。既に住民の皆様にはご意見をいただいているが、より多くの方のご意見を伺いたいと考えているので、今後HPを開設する。

(座長)

◇日本テレビ跡地の開発のアウトラインは、いつ頃見せていただけそうか。

(委員)

◇いつお見せできるかは、まだお答えできない。

(委員)

◇日本テレビはこれまでも様々な社会貢献をされてきた企業と認識している。番町の庭が住民にとって使いやすいのは、No.4のトイレを使用できることが大きいと考える。そのような使いやすさを保つためには、様々な視点から分析をし、それに基づいて客観的に議論することが必要。広場をつくるために超高層が必要という議論はおかしい。対立構造ではなく、皆で知恵を絞りながら検討を進められればと考える。なお、先ほどご意見があった、番町の庭を避難所として利用することは、屋外であることからあまり現実的ではないと考える。

(委員)

◇番町の庭が社会貢献の役割も果たしていることは良いことである。しかし、番町の庭では、商業的なイベントも行われており、イベント・プロダクションが介在していることをきちんと示すべきである。複数の学校が所在する番町地域において、そのような商業的イベントの増大はいかがなものか。以前にも申し上げたが、赤坂サカスのような地域にはならないようにしてほしい。

また、本協議会が再開された折に、以前は「対立があった」との意見があったが、具体的にパブリックコメント案が示されて、その中の地区計画の変更、すなわち高さ制限の

緩和の可能性という重大な事柄について協議が重ねられ、意見の相違があったということである。経緯を踏まえる必要がある。

今後、日本テレビが開発のアウトラインを提示されるとのことだが、以前にも日本テレビは構想案を示している。その際に実現化イメージとして、駅のバリアフリー化及び広場の設置と併せた高さ制限の緩和についても触れられており、パブリックコメント案での高さ制限を緩和する可能性についての議論へと繋がった。バリアフリー化や広場設置等については事業者それぞれが考えるもので、それを持って高さ制限を緩和することは飛躍し過ぎであると考えます。

(委員)

◇今回のアンケートでは、高さ制限についての設問が無かったにも関わらず、高さ制限に反対の意見がたくさん寄せられている。そもそも今回のアンケートには、地区計画や高さ制限についての項目は無いので、アンケートは地区計画変更の根拠にはならない。これらの反対意見を区として受け止め、アンケートの結果を根拠にして地区計画を変更し、高さ制限を緩和するようなことは無いようにしてほしい。

(事務局)

◇日本テレビには、今回のアンケート結果をふまえ、地域の意見を反映させながら、ワークショップも含めて検討を進めていただきたい。また、整備後のマネジメントのことも含めて番町のまちづくりについてまとめ、それに基づいた整備計画を考えていただきたい。

(座長)

◇エンドユーザーである広場の利用者の意見や未来の使い手、今後の世代のことを考えて、使いやすい計画を検討していただきたい。

(委員)

◇ご指摘を踏まえ、千代田区指導のもと、住民やエンドユーザーの意見を盛り込んだ計画を検討し、秋口をめどに協議会へご報告させていただきたい。

(座長)

◇区にも、次回までに検討いただきたいことがある。日本テレビ通り沿道まちづくり基本構想(素案)に掲載されているイメージ図をみると区道には樹木が描かれている。それは区が整備するものと認識しているので、実現可能なプラン、方針について検討していただきたい。

(事務局)

◇次回までに用意できるか分からないが、区としての方向性を検討したい。

～副座長からのコメント～

(副座長)

◇今回の協議会を通じ、日本テレビと対話しながら検討を進められる実感を持たせた。議論

を重ねながら良いものを作っていきたい。

(副座長)

◇番町の庭が誕生した経緯として、日テレ通りまちづくり委員会の議論の中で広場の必要性があげられ、そこから日本テレビへ要望したことで、計画地の暫定利用に至ったことをお伝えしておきたい。

【事務局より次回以降の予定を説明】

(事務局)

◇次回の協議会では、本日の議論及び地域の意見を踏まえた形で、日本テレビから計画を示してもらいたい。区も事前に調整しながら作成し、その準備ができ次第、次回の協議会の日程について案内する。

(委員)

◇会の日程については、最低1か月前には教えていただきたい。

(関係者)

◇先程、番町の庭を避難所にするのはナンセンスだと発言があったが、我々としても一生懸命考えていることであり、記録にも残るので取り下げて頂きたい。

(委員)

◇客観的に考えて避難所にはできないと考える。ぜひ議事録に載せて欲しい。また、責任を持つためにも、議事録には発言者を記載して欲しい。

(事務局)

◇議事録は他の審議会でも名前を出していないものもあるため、発言者の記録上の扱いについては区で預かり検討させて頂きたい。避難所については、区の避難所もあるが、日本テレビ跡地が再開発されれば24時間人がいるであろうし、広場活用などで地域との繋がりができていれば、雨天の際は建物内部となるかもしれないが、避難場所として広場は有用でないかと思う。様々なご意見があるということでご理解頂きたい。

(委員)

◇区の防災計画では、番町地域は大規模な延焼火災の危険性が比較的少ないので、広域避難場所や一時避難場所を廃止しており、災害時に事業者は自身の就労者を3日間留められるようにとしている。日本テレビの再開発に過剰な期待をしすぎるのもいがかかと思うし、区の防災計画と整合している必要はあるだろう。

以 上